

愛のひだまりで心豊かに育つ

# ひだまりだより

令和8年度
9月号




社会福祉法人温和会　ひだまり認定こども園　　園長:阿嘉禎貴　電話:936-8084

まだまだ暑さの続く毎日ですが、暦の上では秋を迎える9月となりました。今年は台風が多い年になっており、8 月も 2 回台風がありました。その度重なる台風による休園にご理解ご協力していただき、有難うございました。

さて、9月になり園内では、秋を感じさせる装飾づくりや、敬老の日に向けてのプレゼント制作に取り組んでいます。さらに、運動会に向けてリズムダンスや運動遊びを楽しみながら、心も体もぐんぐん成長している姿が見られます。まだまだ暑い日が続きそうですが、子どもたちが元気いっぱい過ごせるよう、ご家庭でも体調管理へのご協力を宜しくお願いします。

## 保育目標

◎　敬老の日を知り、おじいちゃん・おばあちゃんに感謝の気持ちを持つ。
◎　運動会に向けて体力づくりをする。

## 9月 行事予定

5日(土):お招き会
9日(水):身体測定
16日(水):避難訓練
17日(木):お誕生日会
　　お弁当持参
19日(土):園内研修
21日(月):敬老の日(休園)
22日(火):国民の休日(休園)
23日(火):秋分の日



**令和8年度運動会は、予定を変更し、11月14日(土)に開催いたします！**

## おじいちゃん！おばあちゃん！ご参加ありがとうございました！！

9/5 のお招き会に、86 名の祖父母の皆様のご参加がありました。共働きのご時世、祖父母の皆様のおかげで助かっていることがたくさんあります。お招き会では、お孫さんたちの演技と、地域の方々の演目、そして食事の時間を楽しんでいただきました。たくさんの喜びのお声も頂き、有難うございました。運動会も予定していますので、是非お楽しみにしていてください。






## 子育てへのメッセージ

### 敬老の日を真剣に伝えたい！

社会福祉法人　温和会
理事長　阿嘉よね子

私を知って長いお付き合いをくださる方からこんな言葉をいただくことがあります。「あなたはご両親からたっぷりの愛情を受けて育ったのでしょう。そして、ご両親も素晴らしい方であり、あなた自身もそのことを誇りに思っているのですね」と。

まさにその通りであり、敬老の日を迎えるたびに亡き両親を想い、自分の育ちに感謝すると同時に、高齢化社会における「老い」という現実に思いを巡らせます。

保育に携わって４０余年。その中で、孫の子育てを支えるお年寄りや、日々子どもたちを見守ってくださる祖父母の姿に出会ってきました。長年の保育の中で、おじいちゃんやおばあちゃんから多くの知恵をいただくことも少なくありません。そしてその年月の中で、「老い方」が人それぞれに違うことを目のあたりにしてきました。

病とともに生を生き抜く姿。子どもに迷惑をかけまいと自ら施設に入った母親。独り暮らしをしながら誰かを待ち続ける老人。家族の中で居場所を失い意欲をなくす人。気丈に自立を選んだおばあさん。その姿は実に様々でした。今、世の中では高齢者をめぐる悲しい事件が毎日のように報じられます。そのたびに私は、「老いる」ということ、そして「人間の存在価値」とは何かを考えずにはいられません。老いは誰もが通る道でありながら、個人の問題として背負わされがちです。しかし、実際には、個人では背負いきれない深刻さと複雑をはらんでいます。私はふと想うのです。もし他界した両親が今も生きていたら、今の私の姿に大きな拍手を贈り、苦しい時には励ましてくれただろう、と。

よく言われますね。「親は生きているだけで大きな価値がある。」「親孝行をした人の家は繁栄する」「自分が親に尽くした分しか自分が老いた時に子から返ってこない」こと。

高齢化は、金持ちであれ貧乏であれ、誰にでも訪れます。しかし老いは、お金や物や環境だけでは解決できません。私が思う最高のケアの方法は・・・「優しい心」です。

どうぞ親を大切にしてください。あなたをこの世に送り出してくれた、ただ一人の父であり母であることを、どうか忘れないでほしいのです。